

オンライン展覧会「多摩川を渡る -六郷橋と六郷渡船-」関連事業

連続講座

たまがわ

多麻河伯

古代への眼差し

一地名・墓・文献から考える一

川崎を流れる多摩川流域の古代について、地名や考古学、文献史学から考察する連続講座です。各分野から見た姿の重なりのなかに 〈多摩川流域の古代〉に関する立体的イメージは浮かび上がるのか、 聴講者の皆さんと考えていきます。





2026年

1/17

講座① 13:30~15:30 1/24

講座② 10:00~12:00 1/24

講座③ 13:30~15:30 事前申込制 受講無料

定員 各回40名

申込方法 ※1講座のみのお申込みも可能です。

Web申込 川崎市市民ミュージアムWebサイトのイベントページ [申込期間]2025年12月8日(月)10時~12月22日(月)16時

> イベントページ〈申込フォーム〉よりお申込みください ▶ **はるま** https://www.kawasaki-museum.jp/event/32734/ **■ F**



郵便申込 往復ハガキ往信(裏面)に①希望講座番号 ②参加者全員の氏名(フリガナ) ③電話番号、返信(表面)に①ご自身の郵便番号 ③住所 ③氏名を明記し下記へ郵送。

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生6-15-2 川崎市市民ミュージアム宛

[申込期間]2025年12月8日(月)~12月22日(月)必着

※1組4名まで応募できます。

※応募者多数の場合は抽選し、2026年1月9日(金)までにご連絡します。

(郵便申込の場合は当落いずれも通知。Web申込の場合は当選者のみメールでご連絡します。)

A.无射志国荏原評銘文字瓦(川崎市重要歴史記念物) 川崎市教育委員会 C.「日本書紀 18巻」慶長15年 国立公文書館蔵デジタルアーカイブ B.平塚市東中原E遺跡第4地点3号道路状遺構(部分) 平塚市教育委員会 D.浄元寺東橋穴墓莊出十銅線 川崎市教育委員会

会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール



〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3 JR南武線武蔵溝ノ口駅:徒歩7分 東急田園都市線・大井町線溝の口駅:徒歩7分 東急田園都市線高津駅:徒歩5分





2026年

講座(1)

13:30~15:30

交流の十字路

― 多摩川の地域的な特性を交通と境界性から探る

講師 谷口榮氏(葛飾区文化的景観専門調査員)

多摩川には上流と下流を結ぶ舟運があり、古代東海道や鎌倉街道など陸上交通が多摩 川を通過しています。その水上交通と陸上交通が結節する渡河地点は、交通の要衝として 重要な役割を持っていました。また多摩川は、古代において武蔵国橘樹郡と武蔵国荏原郡 の堺となっていましたが、交通の面では交流の促す存在であり、そこに地域を画し、地域を 繋ぐ両義的な境界性が認められます。同じような下総国葛餝郡を流れる太井川下流地域 も参考にしながら、多摩川の古代と中世における地域的特性について探ります。



講座(2)

10:00~12:00

橘樹・荏原郡域の古代墓制について 横穴墓から火葬墓へ -

講師 松崎元樹氏(東京都埋蔵文化財センター調査研究員)

多摩川中・下流域の両岸では6世紀後葉から8世紀前葉にかけて、台地の崖に墓室を刳り 抜く横穴墓とよばれる墓が盛行します。近年、その分布や構造および副葬品や埋葬人骨な どから造墓集団の性格が注目されています。さらに、奈良・平安時代には火葬骨を埋納した 火葬墓も数多く営まれ、とくに川崎市内からは約60基が確認されています。本講座では、こ れら特徴的な「墓」の様相からこの地域の古代史像を探ります。



講座(3)

13:30~15:30

文献からみる多摩川下流域の世界

講師 堀川徹氏(星槎大学共生科学部准教授)

文献史料を軸にしながら、橘樹郡を中心とした地域社会の実像を検討します。6世紀の武 蔵国造の乱から奈良時代にかけて、どのような氏族が分布し、彼らがいかなるつながりをも ち、地域社会を構成していたのか。多摩川は地域を分断する境界としてみえるのか、あるい は両岸をつなぐものとしてみることができるのか、多摩川という視点から捉えてみると、これま でとは異なる見方ができるかもしれません。



12月12日(金)10:00~3月31日(火)15:00 申込不事

主催 川崎市市民ミュージアム

Tel:044-712-2800(土目祝·年末年始を除く8:30~17:15) Mail:25museum@city.kawasaki.jp 本展は川崎市市民ミュージアムWebサイト内の 「the 3rd Area of "C"—3つめのミュージアム—」内でご覧いただけます

